

整形外科学：スポーツ傷害

42-064 スポーツが原因とならないのはどれか。

1. 腰椎分離症 青少年に多い。腰椎の屈曲、伸展をくり返しによる。
2. 大腿骨頭すべり症 肥満児に多い。スポーツとは関係ない。
3. 大腿骨離断性骨軟骨炎 = 膝関節高位断性骨軟骨炎 (大腿骨の内側顆) : 成長期のスポーツ男児
4. オスグット病 オシグット・シュラッター病。12~15才の男児に多い。くり返し大腿四頭筋で脛骨粗面が引きはられることによる。
5. 中足骨疲労骨折 マラソン選手に多い。

43-079 反復性肩関節脱臼で誤っているのはどれか。

1. 男性に多い。 20才前後の男性
2. 前方脱臼が多い。
3. 外転外旋位で不安感がある。
4. 関節唇損傷を伴うことが多い。 また反復性脱臼となりやすい。
5. ドロップアームサインが陽性である。 これは、腱板断裂である。

44-078 コンパートメント症候群の症状で頻度が低いのはどれか。

1. 疼痛
2. 発赤 蒼白となる。
3. 腫脹
4. 運動麻痺
5. 脈拍触知不能

① コンパートメント症候群
・ 筋膜に囲まれた区画の内圧が上昇することにより阻血(血行障害)のためにおこる。
・ 使いすぎ、上腕骨顆上骨折(フォルクマン拘縮)でおこる。
・ 振揺(CSP) + 腫脹
① Pain (疼痛) ② Pulselessness (脈拍↓)
③ Paralysis (麻痺) ④ Pallor (蒼白)
⑤ Paresthesia (感覚障害)

45-A-87 慢性的な使い過ぎで起こるスポーツ障害はどれか。

1. 頸椎捻挫 ... 車の追突事故(むちうち)などでおこる。
2. 肩鎖関節脱臼 ... 手道などで肩を下にして転倒した際におこる。
3. 上前腸骨棘剥離骨折 ... 急にダッシュやジャンプなどで大腿筋腱張力が急激に増加した際におこる。
4. 腰椎分離症 ... くり返し腰椎の屈曲や伸展を行うことでおこる。L5に多い。
5. アキレス腱断裂 ... 急にダッシュした時などにおこる。